

「ウチダザリガニ」モニタリング報告

1. 目的

環境省の指定した特定外来生物ウチダザリガニの生息状況、捕獲状況を分析し、より効果的な防除方法を見つけるための基礎データとすることを目的とする

2. 結果

- (1) 捕獲数は延べ桧原湖0匹、小野川湖14匹、秋元湖36匹、曾原湖52匹であった。
- (2) 月別で見ると5月8匹、6月38匹、7月56匹であった。
- (3) 6月の段階でも腹部にわずかに卵が残っているメスの個体が捕獲された。
- (4) 1番多く取れた時、秋元湖は発電のためか放水していて流れがあった。
- (5) オスとメスの比率は5月♂8匹♀0匹、6月♂14匹♀24匹、7月♂31匹♀25匹で6月だけメスのほうが多く捕獲することができた。

3. 考察

- (1) 6月、7月の捕獲数が5月や昨年実施した10月～12月の時と比べ多く、効率的に捕獲可能なことがわかった。また、昨年の調査で10月26日には既に卵を抱いていたので、6月～10月までの間でメスの駆除を行うことで、より効率的な駆除が行われるのではないかとと思われる。
- (2) メスが卵を抱いている期間は10月から5月と推測される。また早ければ11月には孵化すると推測される。
- (3) メスが比較的多く捕まえることができるのは6月、7月で、卵を抱いていると思われる10月～5月はメスの捕獲の割合は低下している。このことから、6月～9月がメスのウチダザリガニを駆除するには良い期間と思われる。
- (4) 7月の秋元湖は放水して流れのあるところで大量にウチダザリガニが捕獲された。このことは放水することで、下流にウチダザリガニが大量に流されている可能性があり、将来的には長瀬川を通じて猪苗代湖までウチダザリガニが流される危険性がある可能性を示している。

4. 概要

- (1) 実施期日
 - * 平成23年5月26日（桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖）
 - * 平成23年6月28日（桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖）
 - * 平成23年7月27日（桧原湖・小野川湖・秋元湖・曾原湖）
- (2) 調査者
 - * 五十嵐悟・野沢沙樹（NPO法人わかば自然楽校）
 - * 真野真理子・鈴木正代（裏磐梯エコツーリズム協会）
 - * 松崎諭（桧原漁業協同組合）
- (3) 調査項目および結果
 - * ウチダザリガニの体長・頭胸甲・欠損状況、各湖の水温
 - * 結果を表1に示す。また、捕獲数のデータを表2、水温のデータを表3に示す

以上